POLA ORBIS HOLDINGS

第13期 株主通信

秋号

（2018年1月1日～6月30日）

2018年10月23日発売
オルビスユー

ごあいさつ

代表取締役社長
鈴木郷史

目 次

P1 ごあいさつ
P2 社長インタビュー
P5 ESG
P9 2018年News
P11 財務情報
P13 営業概況
P15 ポーラ・オルビスホールディングスの株主優待
P17 株主さま施設見学会 参加募集のお知らせ / 株主さま施設見学会のご報告
P18 株式の状況 / 株主メモ / 会社概要
裏表紙 ポーラ・オルビスグループの文化活動

株主の皆さまには、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

第13期第2四半期（2018年1月1日～6月30日）の国内化粧品市場は、インバウンド消費や海外輸出の伸長が続き、堅調に推移しましたが、インバウンド消費を除く国内消費は微減と推察されます。

このような市場環境のもと、当社グループは、国内の収益性向上と海外事業の黒字化、次世代の成長ブランド構築に取り組んでまいりましたが、当第2四半期は、基幹ブランドのポーラが売上を牽引したことに加え、育成ブランドの THREE と DECENCIA の好調により、連結売上高・営業利益ともに上期計画を上回る業績を達成することができました。

第3四半期以降も、新ブランドの立ち上げやオルビスのブランド戦略刷新など、新しい取り組みが次々とスタートします。通期の計画達成とともに更なる成長に向けて、グループ一丸となって取り組んでまいります。

ここに、ポーラ・オルビスホールディングスの第13期第2四半期の株主通信（秋号）をお届けいたします。ご高覧いただきますようお願い申し上げます。

社長インタビュー

Q 上期は売上高、営業利益ともに過去最高を更新しました。好調の要因は何でしょうか。

ポーラが前期に引き続き好調です。ポーラでは、前期に発売した「リンクルショット メディカル セラム」による新規顧客の獲得、ならびに既存顧客化が進んでいます。年初に価格改定を実施しましたが、これによりブランドの若年層の顧客比率が高まり、今後のLTV（生涯購入金額）の向上に期待が持てます。また、この数年アジア中心にブランド認知拡大の波及効果により、海外事業が2倍以上の成長を続けています。6月からは、香港および台湾で「リンクルショット メディカル セラム」の発売を開始しました。中国を重点としてアジア圏への投資を強化し、店舗網の拡大による更なるブランドプレゼンスの向上をはかり、海外市場における成長を加速させていきます。

THREEとDECENCIAも、引き続き高い成長率を維持し、前年同期を上回る売上高となっています。THREEを展開するACRO社からは、9月に3つのブランドを立ち上げます。ぜひご期待ください。

Q 現状の課題と、下期の取り組みについてお聞かせください。

構造改革中である、オルビスの再成長が課題と考えます。商品やマーケティングを抜本的に見直し戦略的に顧客リストの絞り込みを図った結果、上期は減収となりましたが、顧客単価や原価率、費用効率などの重要指標が改善し増益に転じるなど、改革の成果は着実に表れてきています。今後の最優先の取り組みは、商品を軸とした圧倒的な他社差別性の創出です。10月には、「オルビスユー」を刷新し、新ブランド戦略をスタートさせます。新「オルビスユー」を中心に、一貫したブランドイメージの浸透を図ることにより、ブランドとしての市場プレゼンスの向上と、成長軌道への回復を実現します。

2018年10月発売
新「オルビスユー」

Q：中長期的な成長に向けた取り組みについてお聞かせください。

当期より、グループの研究体制を刷新しました。研究統括の機能を、当社の「マルチプルインテリジェンスリサーチセンター」に集約し、長期的な観点での研究戦略の策定や、今後の成長エンジンとなる新価値創造に向けて始動しています。マサチューセッツ工科大学メディアラボのコンソーシアム・ラボ・メンバーへの参画や、宇宙ビジネスアイデアコンテストへ協賛するなど、最先端・異分野のさまざまな研究や技術との連携を図り、新たな領域の開拓に投資を強化します。当社グループは、化粧品を提供するビジネスに携わっていますが、社会環境の変化にあわせ化粧品の枠にとらわれず、お客さまのライフスタイルそのものに影響を与える新たな価値の創造に向けて取り組んでまいります。

2018年2月発売 THREE
「THREE」

2018年3月発売 DECENCIA
「サエル」

Q：株主の皆さまへメッセージをお願いします。

利益還元につきましては、当期の中間配当は1株につき35円とさせていただきました。期末配当は45円、年間では前期より10円増配となる80円の配当を予定しています。第3四半期以降も、年間計画の達成に向けた施策を着実に実行するとともに、長期ビジョン「高収益グローバル企業」の実現に向けて、更なる成長を実現してまいります。株主の皆さまには、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長
鈴木郷史

人材育成・女性活躍について語る

組織に迎合しない、自分のスタイルを貫く「美意識」

■ グループ理念「感受性のスイッチを全開にする」に込めたメッセージとは

当社グループが発展できた最大の要因は、お客さまを「化粧品ユーザー」や「年齢別、地域別の分類」といった集合体や属性として見るのではなく、一人の人間として見る“人”中心の経営を行ってきたことだと私は考えます。社員も、一人ひとりの個性や考え方やスタイル、美意識を際立たせてこそ、人材としての力が発揮されます。4,000人の社員がいれば4,000通りの感じ方があり、一人ひとりが感受性のスイッチを全開にすることで、世界にない商品やビジネスモデルが生まれ、企業が新たなステージへと向かうことができるのです。

■ ポーラ・オルビスグループの人材開発とは

昔、私が本田技研工業の開発部門に在籍中、憧れのリーダー本田宗一郎氏から、直接薫陶を受ける機会がありました。その中で印象に残っているのが、失敗したプレゼンです。あるとき、宗一郎氏への試作車のプレゼンで失敗し、開発をやり直しました。宗一郎氏はおそらく正解が分かっていたと思いますが、あえておっしゃらず、私は宗一郎氏の「バランスだ」という言葉をヒントに解決策を見つけ出すことができました。私はこのとき、「人に教えるということは相手に考えさせることだ」と理解しました。当社グループの人材開発の考え方は、当時の経験を活かしたものといえます。次世代リーダー研修には私も毎回参加しますが、教える側と教えられる側という関係ではありません。上から押しつける教育ではなく、一人の人間として意見と感性をぶつけ合う場にしています。

■ 社長の考えるダイバーシティとは

“ダイバーシティ”とは、個々の“美意識”を仕事の場に活かしてもらうことだと考えます。その結果として、女性が活躍する会社になっているといえるでしょう。当社グループは、創業以来、性別に関係なく活躍できる風土があり、多くの女性が活躍してきました。史上初のシワを改善する医薬部外品「リンクルショット　メディカル　セラム」の開発リーダーも女性であり、女性の優れた判断力やリーダーシップは当社グループが社会に開かれるためのソーシャルキャピタルのひとつだと考えています。

詳しくは次ページをご覧ください

人材育成

グループ理念を先導し、変化し続けるリーダー人材の創出へ

ポーラ・オルビスグループでは、多彩なブランドを支える個性あるリーダー創出を目的に
次世代リーダー育成プログラムを、2018年から刷新しました。

次世代リーダー人材開発体系

未来研究会

対象：20-30代　若手層
目的：リーダーシップを発揮していくための意識、行動変革を促す
内容：①グループ内の実在する経営課題にチームで取り組むアクションラーニング
②リーダーシップ開発
③他社との合同演習

ビジネス変革塾
（旧経営幹部養成講座）

対象：30-40代　ミドル層
目的：リーダーとしての変革実行力と自己研鑽による人間的成長
内容：①自社・自グループを変革する経営課題解決
②自己内省とリーダーシップ強化
③他社との合同演習による他流試合

組織変革コーチング
（旧コーチングプログラム）

対象：執行役員層
目的：経営者として対人影響力を磨き、変化に立ち向かう組織風土を醸成する
内容：行動観察型の個別コーチング

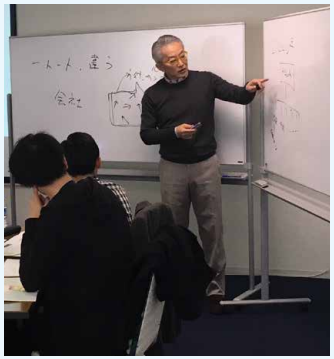
一人ひとりが自立した個人としての感受性を発揮し、組織に絶え間なく変化を生み出す

ポーラ・オルビスグループでは、若手、ミドル、執行役員の3つの階層を対象に、約1年間の能力開発プログラムを実施していますが、2018年3月からこれらを刷新。狙いは一人ひとりが自立した個人としての感受性を発揮し、組織に絶え間なく変化を生み出していくことにあります。

若手層向けの「未来研究会」は、リーダーシップ発揮のための意識、行動変革を目的に、実在する経営課題に取り組むアクションラーニングを導入。与えられた課題を解決するのではなく、自らありたい姿を思考し、問いを立て、課題化し、解決する力を鍛えます。中でも、アート・ワークショップ（対話型美術鑑賞）はグループ理念である「感受性のスイッチを全開にする」を具現化する、独自性の高いカリキュラムとなっています。

2018年未来研究会 主なカリキュラム

- 問いを立てて、未来に生きる ～アーティストから学ぶ
- アート・ワークショップ（対話型美術鑑賞）
- 他社交流
- 変革テーマ提案



受講生インタビュー

若手層向け人材研修プログラム「未来研究会」に参加した社員に聞きました。

Q 未来研究会(以下「未来研」)に参加したきっかけを教えてください。

人事部門に所属していたとき、未来研受講生が、経営課題に本気で向き合い、周囲を巻き込んで実際に変革を起こすべく行動する姿を目の当たりにしていました。私自身もただ与えられたことを行うのではなく、世の中に直接影響を与えられるような変革を起こせる人材になりたい、そういった力を身につけたいと思っていたため、応募に至りました。

Q 未来研とはどのような研修ですか。

私は、「自分自身と向き合って、自分にしかできないことを見つける場」と捉えています。自分は何者か、何を考えているのかを常に考えさせられています。研修には毎回鈴木社長が参加されますが、社長の「自分の実体験や、そこから生まれる変えたいという想いが大切」という言葉が心に残っています。

山口 直

2011年オルビス入社。人事部門を6年間経験した後、2017年より商品企画部に所属。食品・ボディ企画チームでインナーケアの企画～開発を担当

AIや科学技術の進化により、事業を取り巻く環境は大きく変化していきますが、その中で大事なのは「その人らしさ」である、というメッセージを受け取りました。

Q 未来研で印象に残ったテーマ・課題について教えてください。

アーティストの舘鼻則孝氏をお招きした、自身のユニークアイデンティティ(揺るぎない独自性)を見つける、というテーマが印象的でした。舘鼻氏は、レディー・ガガのアイコンとしても知られる「ヒールレスシューズ」のデザイナーです。「自分にしかできないこと」を見つけるアプローチとして、自分のバックグラウンド、価値観などを見つめ直し、とことん自分と向き合う時間になりました。

Q 山口さんにとって、「感受性のスイッチを全開にする」とは?

私は、「何かに夢中になっていること」だと考えます。研修の中で、「努力は夢中に勝てない」という言葉が印象に残っています。何かしなければ、という努力はもちろん大切ですが、それ以上に、人は夢中になって前向きな感情でいる瞬間こそ力を発揮できると思います。ポーラ・オルビスグループの一員として、そんな瞬間を提供していきたいです。

女性活躍

女性の活躍がグループの成長の原動力

培われた企業風土のもと、更なる「女性活躍応援企業」として、女性社員の活躍の場の拡大や管理職への登用など、性別に関係なく一人ひとりの能力を十分に発揮できる環境づくりを推進しています。

「MSCI日本株女性活躍指数（WIN）」の構成銘柄に選定

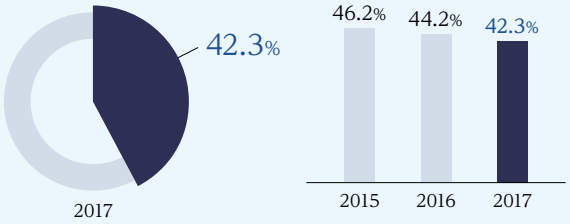
ポーラ・オルビスグループでは、お客さま視点に立った商品開発や提供するサービスの充実など、女性社員がさまざまな形で力を発揮しています。2017年の海外を含めたグループ全体の女性管理職比率は42.3%となっています。

2017年からは、ESG指数「MSCI日本株女性活躍指数（WIN）」の構成銘柄に当社グループが選定されています。これは、女性活躍を推進する日本企業で構成される株価指数で、職場における多様性への取り組みに前向きな企業は社会環境の変化への適応力も高く、長期にわたる持続的な利益拡大が期待できると評価されています。

当社グループでは、今後、このような持続的成長に向けた活動に具体的なKPIを設定し、さらに推進していきます。

MSCI 2018 Constituent MSCI日本株 女性活躍指数（WIN）

■ 女性管理職比率



海外を含めたグループ全体の比率

働き方の多様性向上のための制度導入

社員が生き生きと働ける企業の実現を目指して、リモートワーク制度を2018年3月より本格導入しました。フレキシブルで効率よく業務ができる就業環境を提供し、多様な働き方を推進しています。また、女性社員の出産後の職場への早期復帰をサポート。子育てをしながら働き、そして成長し続けることを応援しています。

女性活躍インタビュー

事業戦略の要を担う役員として、ワーキングマザーとして、
自分らしさを体現し続けている及川取締役に、これまでのキャリアについて聞きました。

ポーラ 及川美紀 取締役

1991年ポーラ入社。2007年経営幹部養成講座(現ビジネス変革塾)修了。2014年取締役に就任

1991年の入社時は「縁の下の力持ちに」と本社営業部に配属。その後、埼玉の販売会社へ出向となる。はじめての販売最前線は毎日が真剣勝負。訪販からショップ販売への転換が進む中、スタッフの本格的な教育をスタートさせた。

大きな気づきを与えてくれた経営幹部養成講座がキャリアのターニングポイントに

取引先のショップオーナーと共にスタッフ育成と業績達成に奮闘していた30代半ば、経営幹部養成講座(現ビジネス変革塾)に参加したことが及川にとって大きなターニングポイントとなった。「できないという選択肢を捨てて、どうしたらできるか考えよ」「ありたい姿を常に考えよ」という会長からの言葉は、今後の仕事の軸になったという。「単に成果を求める仕事から、成長を求める仕事、将来をつくるために今変えなければならないことへ、仕事の転換ができるようになったと思います。できないことに甘んじていた自分、できない理由を探していた自分に気づき、変革への一歩を踏み出すきっかけとなった研修でした。」

「販売の質」を高める組織改革の舵を切り、グループの業績をけん引

及川は、取締役として、2016年にビューティーディレクター(BD)の大規模な組織改革を実施する。「販売の質を高めていかないとポーラは生き残れないという強い覚悟をもって、改革を行いました。」もちろん反対意見が多数。それでも「お客さまが求める本来あるべき姿」を描いて、BDを販売意欲の高いプロの人材に絞った結果、登録数は約7割減となった。しかし、「TOP QUALITY」をキーワードにありたいBD像を示し、処遇や登録基準を刷新したことでBD一人ひとりの意識と責任感が高まり、一人当たりの売上効率は3.3倍に上昇、グループの売上に大いに貢献した。ありたいBD像が明らかになったことで、「リクルートCM」も放映。女性の活躍を推奨し、大いに共感を得る。

リンクルショットの販売を契機に、ポーラは更なる成長へ

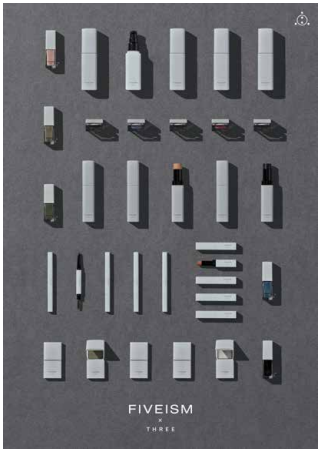
ポーラは、2017年「リンクルショット メディカル セラム」を発売し、大ヒット。商品のもつ効果に加え、BDが商品の良さや特性をしっかりとお客さまにお伝えするという、及川の進めた販売の質の向上が、「リンクルショット メディカル セラム」の売上に大きく寄与した。

「販売の心、目標に向かう気持ち、人とのつながりの大切さ…、大事なことは厳しくも温かい先輩たちがすべて教えてくれました。人とつながり、必要とされることで人は輝き続けることができるのです。」及川のこの思いが今では組織を牽引する大きな力となっている。

POLA

4月 アジア圏でのハイプレステージチャネル展開を強化。新たに4店舗を出店し、店舗網を拡大

FIVEISM × THREE



9月 メンズ総合コスメブランド「FIVEISM × THREE」誕生

POLA

6月「リンクルショット メディカル セラム」海外での販売をスタート

POLA

9月「Red B.A」誕生

ITRIM

9月 “真正の美”をつくるスキンケアブランド「ITRIM」誕生

Amplitude

9月 “かっこいい大人美”を創る　ハイプレステージメイクアップブランド「Amplitude」誕生

Jurlique

9月 「ハーバルシグニチャーコレクション」誕生

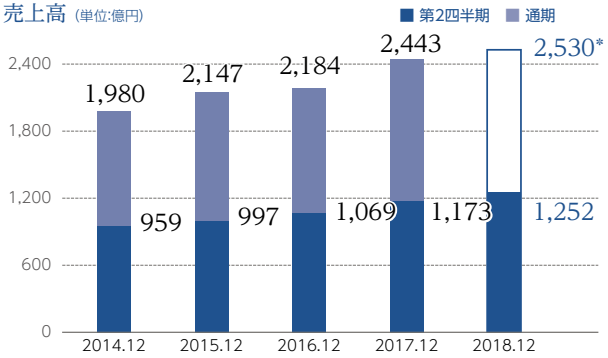
DECENCIA

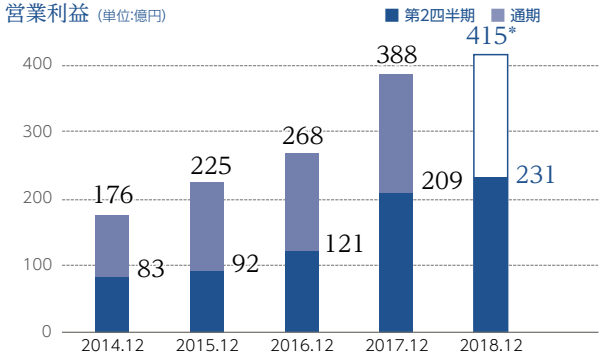
9月 「アヤナス」からベースメイク誕生

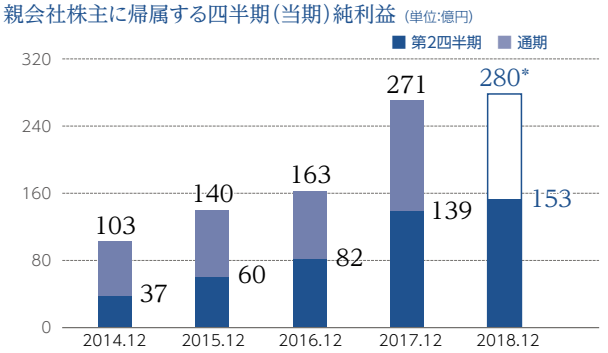
ORBIS

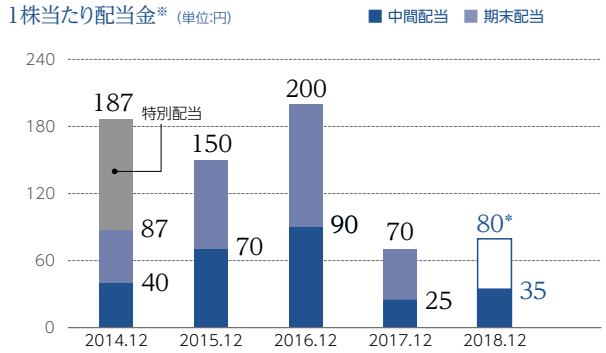
10月 新「オルビスユー」誕生

財務ハイライト









*の数値は見通しです。

2018年12月期の見通し (2018年7月30日時点)

上期は、売上、営業利益ともに計画以上に推移し、年間の見通しに対しても順調に進捗しております。下期も、ポーラを牽引役に育成ブランドの更なる拡大成長、海外ブランドの損失改善により9期連続の増収、営業利益増を目指します。配当は、10円増配となる、年間80円を予定しています。

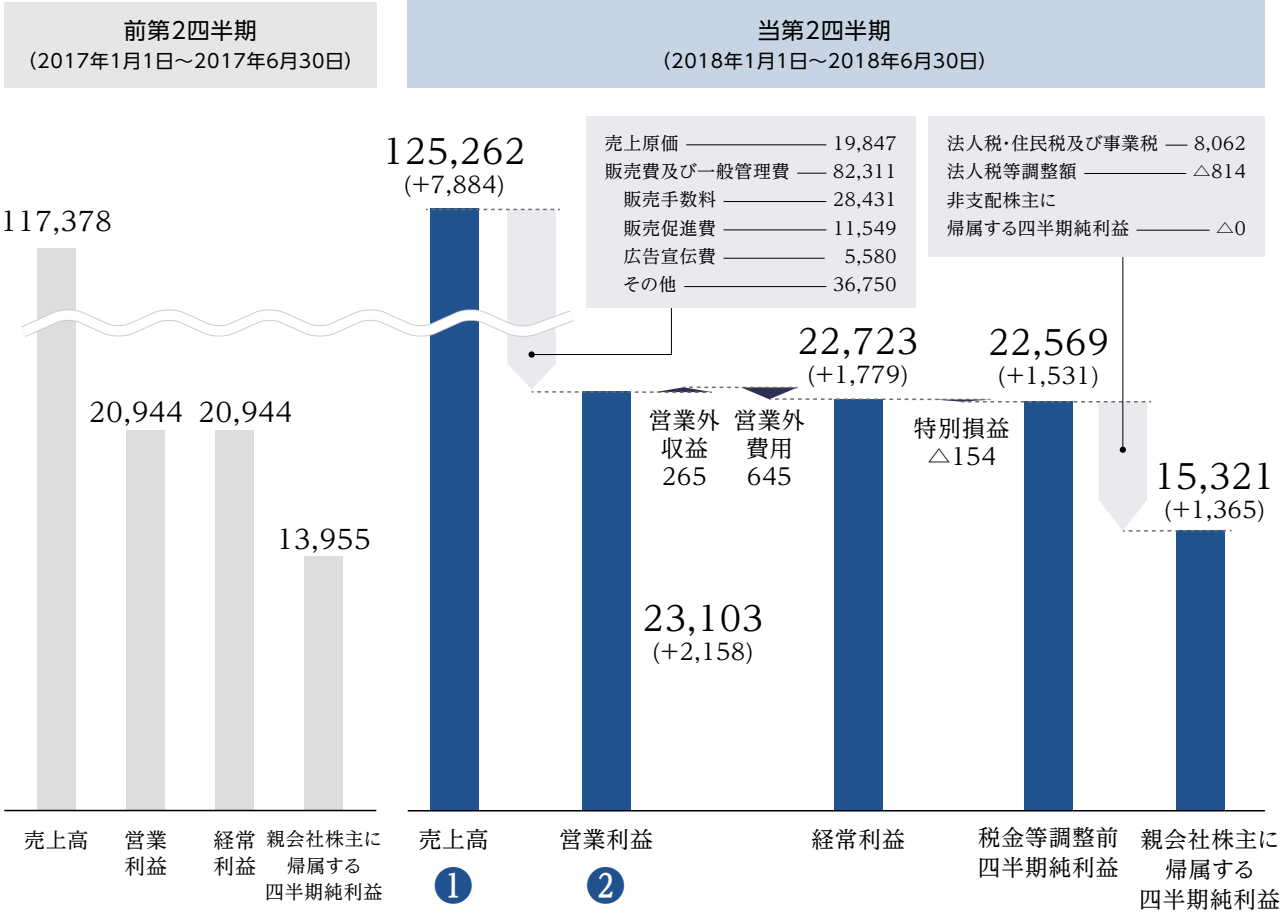
売上高	2,530億円(前期比103.5%)
営業利益	415億円(前期比106.7%)
親会社株主に帰属する当期純利益	280億円(前期比103.2%)
年間配当金※	80　円(見通し)

※当社は、2017年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っています。2017年12月期の配当金につきましては、分割後の株式に対するものです。

連結損益計算書の概要 (2018.1.1～2018.6.30)

(単位:百万円)

※ グラフを見やすくするため、数値と高さは比例していません。
※ ( )内数字は前年同期比増減



ポイント解説 ❶

ポーラの増収がグループ業績に大きく貢献し、増収となりました。

ポイント解説 ❷

売上高増による売上総利益の増加および原価率の改善により、増益となりました。

営業概況

2018年12月期第2四半期の連結業績をご報告いたします。

■ ビューティケア事業

ポーラ、育成ブランドが増収を牽引。増収による売上総利益の増加に加え、オルビス、H2O PLUSの費用効率改善により増益。

売上高

116,973百万円
（前年同期比 107.0%）

営業利益

22,253百万円
（前年同期比 110.7%）

POLA

売上高

76,559百万円
（前年同期比 110.1%）

営業利益

18,268百万円
（前年同期比 113.8%）

「リンクルショット メディカル セラム」を契機に顧客層が拡大。既存顧客売上が好調な国内に加えて、中国・香港・免税店が伸長し大幅増収・増益。

ORBIS

売上高	営業利益
26,032百万円 （前年同期比 97.6%）	5,147百万円 （前年同期比104.6%）

「オルビスユー」シリーズを中心としたプロモーションの強化により、顧客単価が改善。

Jurlique

売上高	営業利益
4,993百万円 （前年同期比 98.2%）	△1,506百万円 （前年同期より381百万円減）

ブランドイメージを刷新するグローバルキャンペーンを実施。中国およびオーストラリアで苦戦し、減収。

H2O+ BEAUTY

売上高	営業利益
960百万円 （前年同期比 85.8%）	△346百万円 （前年同期より106百万円改善）

北米における販売チャネルの絞り込みにより減収。主力商品にプロモーションを集中させたことにより損失は縮小。

育成ブランド THREE DECENCIA

売上高	営業利益
8,427百万円 （前年同期比 122.5%）	691百万円 （前年同期比99.8%）

THREE と DECENCIA は高成長を継続。新ブランドへの投資により減益。

■ 不動産事業

売上高	営業利益
1,354百万円 （前年同期比 100.4%）	564百万円 （前年同期比 95.2%）

高稼働率維持も、オフィス環境整備費用の増加により減益。

■ その他（医薬品・ビルメンテナンス）

売上高	営業利益
6,934百万円 （前年同期比 103.1%）	519百万円 （前年同期比 314.6%）

医薬品事業は、主力商品の営業・プロモーションに資源を集中し増収。

ポーラ・オルビスホールディングスの株主優待

ポーラ・オルビスホールディングスでは、保有株式数と保有年数に応じた
ポイント制優待制度を導入しています。

人気株主優待商品のご紹介

ORBIS

15 point

タブレットタイプのサプリメントセット

サプリメントセット

THREE

60 point

THREE初の男性用スキンケア

メンズトライアルセット

ORBIS

80 point

オルビスの人気シリーズ

オルビスユーセット

Jurlique

30 point

2017年発売。ジュリークの新ボディケアコレクション

シャワージェル

DECENCIA

ストレスによる肌荒れに着目したスキンケアシリーズ

アヤナス　トライアルセット

POLA

120 point

2018年2月発売の美白美容液が優待商品に登場

ホワイトショットSXS

株主優待コンシェルジュより

株式分割後に、新たに当社株主となってくださった皆さまもご利用いただけるよう、優待制度を拡充しました。
株主さまアンケートでは、毎年株主優待を楽しみにしてくださっているとの大変嬉しいコメントをいただいています。株主の皆さまからいただく貴重なご意見を参考にし、サービス内容や商品ラインアップを毎年見直しています。
これからもぜひご期待ください。

株主優待コンシェルジュ 泊

株主さまからのコメント

商品を選べて、ポイントを貯められる制度は他社にはないのでうれしい。

株主優待で初めて出会う商品があり、その後も利用しています。

前回希望した商品をさっそくラインアップに加えていただきありがとうございます。妻も喜んでいます。

- **対象株主さま：**毎年12月末の当社株主名簿に記載された1単元（100株）以上所有の株主さま
- **優待ポイントについて：**ポイントは、1ポイント100円相当。優待カタログ掲載の商品からお選びいただけます。
- **進呈ポイント**

3年以上継続保有の場合、+20ポイント

保有株式数/保有年数	3年未満	3年以上
100～399株	15ポイント	35ポイント
400～1,199株	60ポイント	80ポイント
1,200～1,999株	80ポイント	100ポイント
2,000株以上	100ポイント	120ポイント

●ポイントは3年間繰り越せます。全株式を売却された場合、次年度にポイントを繰り越すことはできません。 ●保有年数は株主番号で管理しておりますので、同一株主番号で保有の必要があります。 ●優待品のラインアップは毎年変わります。 ●株主優待についての詳細は、Webサイトまたは株主優待制度のご案内をご覧ください。

野村インベスター・リレーションズ（株）発行「知って得する株主優待」
女性にうれしい“美と健康”部門 6年連続1位に選出されました。

株主さま施設見学会　参加募集のお知らせ

当社では、株主の皆さまに当社へのご理解を一層深めていただけるよう、施設見学会を開催しています。次回は、当社グループの研究開発、製造を担うポーラ化成工業(株) 袋井工場をご案内します。

当社のものづくりへのこだわりをぜひご体感ください。ご応募をお待ちしています。

開催概要

- 日程:2018年11月15日(木)
- 場所:ポーラ化成工業(株) 袋井工場
- 応募条件:2018年6月30日現在、当社株式を100株以上保有の株主さま

詳細は、同封の「株主さま施設見学会開催のお知らせ」をご覧ください。

株主さま施設見学会（横浜研究所）のご報告

2018年6月13日、ポーラ化成工業(株) 横浜研究所で、株主さまを対象とした施設見学会を開催しました。たくさんのご応募を頂戴し、当日は、約30名の株主さまとご同伴者さまにご参加いただきました。

研究内容や商品に関して研究員より解説。「リンクルショット メディカル セラム」をご愛用いただいている株主さまから、効果的な使用方法についてご質問もいただきました。

シミのできるメカニズムを実験でご紹介

オリジナル香水づくり

ご参加者さまの声（抜粋）

- 研究に日々情熱をかけていらっしゃるところが、垣間見れて、本当によかったです。
- 実際に研究・開発した方々の説明だったので、使用方法や効果などより強い思いが伝わってきました。
- 大変参考になりました。株主は応援企業を良く知ることで、さらに応援できます。今回のような企画を今後も継続して、ファンを増やしてください。

株式の状況（2018年6月30日現在）

発行可能株式総数	800,000,000 株
発行済株式の総数	229,136,156 株
株　主　数	24,591 名

大株主（上位10位）

株主名	持株数（千株）	持株比率（%）
公益財団法人ポーラ美術振興財団	78,616	34.31
鈴木　郷史	50,661	22.11
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	7,437	3.25
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	5,841	2.55
中村　直子	4,770	2.08
鈴木　宏美	3,113	1.36
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	2,864	1.25
ポーラ・オルビスグループ従業員持株会	2,042	0.89
CHASE MANHATTAN BANK GTS CLIENTS ACCOUNT ESCROW	2,019	0.88
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口９）	1,645	0.72

（注）1．所有株式数は単位未満を切り捨てて表示しております。
2．上記のほか当社所有の自己株式 7,957 千株があります。
3．持株比率は発行済株式の総数で算出しております。

会社概要（2018年6月30日現在）

商　　号	株式会社ポーラ・オルビスホールディングス POLA ORBIS HOLDINGS INC.
設　　立	2006年9月29日
資 本 金	100億円
従業員数	（連結）4,206 名　（単体）133 名 *従業員数は就業人員数（派遣出向者を除き、受入出向者を含む）
事業内容	グループ全体の経営管理
本店所在地	〒141-0031 東京都品川区西五反田二丁目2番3号 （実際の業務は東京都中央区銀座一丁目７番７号で行っております）

役員一覧

代表取締役社長	鈴木 郷史	社外取締役	小宮 一慶
常務取締役	久米 直喜	社外取締役	牛尾 奈緒美
取締役	藤井 彰	監査役	岩渕 久男
取締役	横手 喜一	社外監査役	佐藤 明夫
		社外監査役	中村 元彦

■ 株式に関するマイナンバー制度のご案内
市町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係の手続きで必要となります。このため、株主さまからお取引の証券会社等へマイナンバーをご提供いただく必要がございます。

株主メモ

事業年度: 毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会: 毎年3月
定時株主総会の議決権の基準日: 12月31日（その他必要があるときには、あらかじめ公告する一定の日）
期末配当の基準日: 12月31日
中間配当の基準日:　6月30日
1単元の株式数: 100株
証券コード: 4927
株主名簿管理人: 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所: 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

公告の方法：電子公告によって行う。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。
公告掲載アドレス：http://www.po-holdings.co.jp/
上場証券取引所：東京証券取引所 市場第一部

■ ご住所・お名前の変更、単元未満株式の買取請求、配当金受取方法の変更などについては、お取引のある証券会社にお問い合わせください。
■ 未払い配当金のお支払いや株式事務に関する一般的なお問い合わせは、下記の当社株主名簿管理人にお申し出ください。
三菱 UFJ 信託銀行株式会社　証券代行部
〒137-8081　新東京郵便局私書箱第 29 号
TEL：0120-232-711（通話料無料）

ポーラ・オルビスグループの文化活動

ポーラ ミュージアム アネックス　展覧会情報

2018年9月7日(金)～9月24日(月・祝)

宮本佳美
「消滅からの形成」

「光」をテーマに綿布に何十色も混ぜ合わせた水彩絵の具を用いて、モノトーンの色調で写実的な作品を制作する若手アーティスト 宮本佳美の展覧会。オランダ留学後に制作した新作を中心に約10点を展示予定。

宮本佳美「summer」綿布に水彩、アクリル　2015年

2018年10月5日(金)～11月4日(日)

SHIMURAbros　「Seeing Is Believing 見ることは信じること」

シムラブロスはベルリンを拠点に国内外で活躍する姉弟ユニットで、様々な映像装置の発明によって既存の枠をこえたイメージを実体化するアーティストです。今回、人気のあるSKYシリーズを中心に新作の映像作品を展示予定です。

TRACE – SKY - Floating Clouds 01 (Ed. 2)
2018
鏡、光学ガラス、電線、木、スチール
Courtesy of the artist and Tokyo Gallery+BTAP

お近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。

ポーラ ミュージアム アネックス
TEL 03-5777-8600(ハローダイヤル)

東京都中央区銀座1-7-7　ポーラ銀座ビル 3階
開館時間 11:00～20:00(最終入場は19:30まで)

入場無料

IR ニュースメール配信にご登録ください

最新のニュースリリース、IR関連資料、説明会などのプレゼンテーションの情報を、
ご登録の皆さまに電子メールにてお知らせいたします。
ポーラ・オルビスホールディングスの情報をいち早く知ることができるメール配信に、
ぜひ、ご登録ください。
当社ホームページの株主・投資家情報(http://ir.po-holdings.co.jp)よりご登録ください。

登録すると、こんなメリットがあります！

- ☑ 最新のIR情報が入手できます。
- ☑ パソコンでも携帯でも、お好きな場所で確認できます。

当社IRサイト

ご登録はこちらから

ポーラ・オルビス 個人投資家　検索

株式会社ポーラ・オルビスホールディングス

〒104-0061　東京都中央区銀座1-7-7　ポーラ銀座ビル
TEL　03-3563-5517(代表)　http://www.po-holdings.co.jp/